

カノコソウ	<i>Valeriana fauriei</i> Briq.	絶滅危惧 I 類
		オミナエシ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が極めて少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	地下に細長い横走根茎を出す。地上茎は高さ30-80cm。基部につく葉は6cm に達する長い柄がある。花は集散花序につき、花冠は長さ5-7mm、薄紅色。雄蕊は3個で、花冠から長く突出する。	
生態的特徴	草原、林縁、明るい林床に生育する。花は5月下旬から7月上旬に咲く。	
分布状況	樺太、朝鮮半島から中国にかけて分布し、日本では北海道から九州までである。岐阜県では県南西部に見られる。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊と、山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘